

なぜフットケアが大切なのか

網膜症

→視力低下

- ・足の異変に気づきづらい
- ・適切な爪切りができない

神経障害

→痛みを感じにくく

足の異変に気づきづらい

動脈硬化

→血流が悪くなる

傷が治りにくく、感染を起こしやすい

糖尿病

透析患者
腎不全

血管石灰化

末梢循環障害

- ・末梢血管の狭窄・閉塞
- ・傷からの感染

潰瘍・壊疽

下肢切断

糖尿病や透析(腎不全)の合併症として足病変があります。重症化すると下肢切断に至り、早期発見と適切なケアを行うことが予防につながります。

菊川市立総合病院では糖尿病外来や透析で定期的なフットケアを行っています。足の冷感、しびれ、痛み、色、傷、変形、水虫、ウオノメ・タコ等がないかや足の血流を直接触れてチェックします。足の爪の状態や希望に応じて爪切りも行っています。

フットケアの勉強会を行いました

糖尿病外来や透析室配属の看護師と臨床工学技士でフットケアの勉強会を行いました。実際にお互いの足をチェックし合い、爪切りを実践しました。また、院内で使用するチェックリストを見直す話し合いをしました。病棟を含めて院内全体でフットケアを行えるよう整備しています。



爪切り手順

- 1.ホットタオルで指先を蒸し、爪を柔らかくする。
- 2.ゾンデで爪の間の汚れをかき出す。
- 3.爪切りで適切な長さまで爪を切る。
またはグラインダーを使って爪を削る。
爪はまっすぐにカットし両角に丸みをつける。
- 4.ヤスリをかけて整える。

ゾンデ



グラインダー

